



2025年5月14日

各位

会社名 株式会社一家ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 武長 太郎
(コード：7127 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 高橋 広宜
(TEL. 047-711-0850)

特別損失の計上及び業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第4四半期連結会計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせいたしますとともに、2025年2月13日に公表いたしました2025年3月期の業績予想値と本日公表の2025年3月期通期実績値について、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

退店の意思決定を行った店舗の固定資産及び、一部店舗の固定資産において収益性の低下による減損の兆候が認められたことにより「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、2025年3月期第4四半期連結会計期間において、減損損失77,396千円を計上いたしました。

これにより、第3四半期までに計上いたしました34,226千円と合わせ、合計140,939千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

2. 2025年3月期通期業績予想値と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	10,117	△8	△32	△55	△7.72
実績値 (B)	10,089	△74	△100	△172	△24.16
差異 (B-A)	△27	△66	△67	△117	
増減率 (%)	△0.3%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	9,232	227	219	78	11.12

3. 業績予想値との差異が生じた理由

売上高につきましては、飲食事業の各業態における歓送迎会需要の取込みが想定より下回ったことと、ブライダル事業の婚礼の直前のキャンセルなどにより予想値を下回りました。売上減少に伴う人件費率の上昇のほか、今後の売上拡大のための積極的な外販戦略による広告宣伝費の増加、新事業であるレジャー事業における今後のレジャー施設の展開、運営のための調査研究等に先行して投資したことにより、営業利益・経常利益を押し下げる結果となりました。

また、「1. 特別損失（減損損失）の計上」に記載した減損損失を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は172百万円と、予想値を下回る結果となりました。

以上